

ISO 学生委員会 環境意識継続調査

【背景】

東京都市大学横浜キャンパスの「ISO14001」を運営・維持していく為に、構成員は環境と調和するよう十分な配慮を払い、広く地球的視野に立ち、環境負荷を軽減する事が求められる。しかし、リリパットの回収率の低下や混在率の増加などから、近年この意識の低下が明らかである。この実状を改善しなければ「ISO14001」の運営・維持は困難である。

【目的】

この企画は同じ調査を継続的に行い、構成員全員の環境に対する意識の傾向を調査し、分析することで以下のメリットを得る。

- ・ 本学の ISO14001 の運営における問題点を明らかにすることができる。
(アンケートの結果から構成員の認識の欠けている部分を見つけることができ、今後の活動を通して補完することができる。)
- ・ 構成員に自分を客観視する機会を与える事で自己反省ができる。
(アンケートに答えることで、自分たちの生活を振り返ることができる。)
- ・ 継続的な意識向上の統計的証明ができる。
(入学してから4年間、また前期・後期でどういう意識が変わったかを統計的に表すことができる。)

【実施時期】

前期調査：前期オリエンテーション、各学年ガイダンス時

後期調査：後期オリエンテーション、各学年ガイダンス時

結果公表：環境 ISO フォーラム

【実施対象】

横浜キャンパス構成員（学生/教員/職員）

【実施内容】

横浜キャンパスの構成員全員に対し、環境に対する意識等についてのアンケート調査を実施する。調査方法はマークシート方式とする。

集計結果によって学生の各環境問題に対する関心などの傾向を明らかにし、横浜キャンパスの ISO14001 における反省と今後の活動計画に反映させる。また、環境 ISO フォーラムの際に集計結果を公表し、構成員の環境に対する意識向上を啓発する。